

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/01/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

70ドル台前半のボックス相場を継続

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半でボックス気味の展開が続いている。中東情勢の緊迫化が下値を支えているが、原油供給障害が発生している訳ではなく、明確な上昇トレンドを形成するまでの勢いはなかった。一方、世界経済の減速による需要不安が上値を圧迫しているが、国際エネルギー機関（IEA）が1月18日に発表した月報で2024年の世界石油需要見通しを引き上げたこともあり、70ドル割れを試すような動きも見られなかった。結果的に最近のボックス相場を踏襲する展開になっている。

イエメンの武装組織フーシ派の活動は一段と活発化している。米英はイエメンのフーシ派組織に対する直接攻撃を行ったが、フーシ派は逆に紅海で船舶に対する攻撃を強化している。このため、多くの海運会社が紅海からスエズ運河経由の海上輸送路の使用を中止しており、10～14日程度の追加の日数が必要とされる喜望峯沖のルートに切り替えている。ただし、それで欧州地区の需給が混乱している訳ではなく、地政学リスクが下値をサポートしながらも、75ドル水準では上値を抑えられた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月12日時点）は、原油が前週比249万バレル減、ガソリンが308万バレル増、石油精製品が237万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル台前半のボックス継続か、米在庫統計に注目

過去1カ月半にわたって70～75ドルをコアとしたボックス相場が続いている。地政学リスクの買いと需要不安の売りが交錯しており、この両者のパワーバランスを大きく崩すような動きがみられるまでは、ボックス相場の継続がメインシナリオになる。

引き続き中東情勢に対しては高いレベルの警戒感が求められるが、焦点は原油生産に影響が生じるか否かの一点になる。イランやサウジアラビアといった主要産油国が軍事紛争に巻き込まれることがなければ、紅海周辺の輸送障害によるマイルドな下値サポートに留まろう。

一方、需要不安の上値圧迫が続くものの、大きく値を崩すことは難しい。前週は石油輸出国機構（OPEC）が2024年の世界石油需要見通しを据え置き、IEAが日量18万バレル引き上げを行っている。IEAは中国の石油化学部門の需要が想定よりもしっかりとしていること、世界的な利下げの議論、原油価格の値下がりによって、需要見通しが改善していることを指摘している。実際にWTI原油のサヤをみても、期近限月に対しては若干のプレミアムが加算された状態にあり、需給緩和から順サヤ（期近安・期先高）に転換するような動きは見送られている。

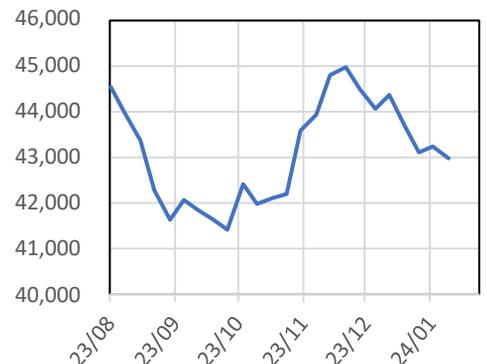
米国で石油製品在庫が急増していることはネガティブ。製油所の活動が活発なことで原油在庫は抑制されているが、過剰供給でガソリン在庫は3週連続、石油精製品在庫は8週連続で増加している。24日発表の統計で、更に石油製品在庫の増加が確認されると、上値を圧迫される可能性が高まろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



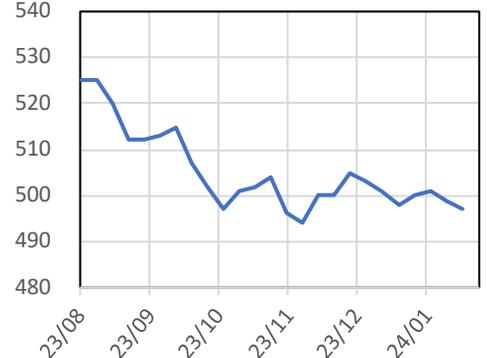
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

